ときは、あのタービンは本当にもうガタガタ。オーバーホールしても全然だめ。

雨宮　取り換えるしかないでしょ。

―大川さんはいかがですか。

大川　なんにつけても、部品がない

大阪は東京との対抗意識が強い

雨宮　でも苦労といえば、大阪の人は大変だね。遠くからこっちへ来なくちゃならないから。

―すごいハンディですよね。一回くるのに、どのくらいかかりますか。

牧原　金額も金額やけど、時間がね。

山本　2日はつぶれる、完全に。

―その間、仕事も休まなければならないし、つらいところですね。

雨宮　だからえらいと思う、大阪から来るのは。

牧原　けどやっぱりつぶれたら、帰りは遠いな、谷田部からは。つぶれたら腹がたつし、疲れるんや。途中で眠くなるし。だからつぶれんために必死やもんね。こうしたらつぶれないという辞書があったら、絶対にいいんだけど。

山本　それはやっぱりあれですよ。圧縮下げて、ブースト下げて、回転下げてね……。(笑)

牧原　だけどセッティングするのが一番恐いね。なんといっても、始めて、タコメーターが上がっていくときは、1回やれば2回目からは慣れるから、1回目のときが一番恐い。

雨宮　ほんと、目がついていかない。

牧原　やっぱり視力が落ちますね、このごろ歳かなとも思うんだけど。

雨宮　正直いって、俺なんかいつも飛ばしてるし、今でも飛ばしてる。

牧原　目、大丈夫ですか。

谷田部の最高速トライアルでは、ともにライバルだったが、私生活では、東名、青山時代より以前からの大親友でもある

雨宮　いや、だから、目をならすためにビンビンですよ。

山本　恐いなと思うでしょ、最初は。そこでまた踏む。これを何回かやっているうちに、だんだん慣れてくる。

雨宮　ただ大阪のドライバーで、あまり踏まないとかいう人がいるけど、これはさみしい。

山本　やっぱり踏んでもらうように車を作るのが楽しみだからね。

牧原　うん、それはそうやね。だけどそれは、谷田部に来てる回数が足らんのと違うかなと思う。それに、こわしたらなんやしね。

山本　俺にいわせると、そこまで踏んでいない。飛ばさないね、大阪の人は。

牧原　やはり感覚が半年から1年位ズレるんと違いますか。大阪では今年の末ぐらいに、最高速が話題になると思うんやけど。

――今のところ、そんなに反響はないですか。

牧原　まだないでしょうね、大阪では。

雨宮　そのせいかもしれないけど、大阪の人はあまり信用しないね、最高速が出たとかいっても。そういうところが、やっぱり東京とは違う。

牧原　それは確かに。そんなところがありますね。

大川　大阪は、大阪どうしで足の引っ張り合いというか、そういう感じがあるでしょう。

牧原　うん、あるね。ショップどうしのつながりも少ないし。

山本　あまり話し合わないんですか。

牧原　うん、やっぱり最高速やってるショップもあまりないしね。

山本　東京の連中は、みんな仲がいいですよ。それで商売でうまく持っていくし。

牧原　それは谷田部で会ったときに、パッと思ったね。僕ら、大阪から遠いせいもあるかもしれないけど、みんな一緒に来ることがないから。一緒に来てたら、それなりに成果が上がると思うけど。

――なかなか、みんなが同時に集まるわけに行きませんからね。

山本　だからそういう面で、すぐ偏見持つの。なんだ、東京のやつばっかりだとか。

牧原　でもそれだから、おもしろいんやろね。どっちかというと、東京には絶対負けんとこ、というところが出てくるから。

――大阪の人は、個人的には負けず嫌いの所があるから、けっこうはげみになったでしょう。

牧原　それはどっか気持ちの上であるやろね、だけど、みんなで共通の話題があるのはいいですね。最高速御三家といわれるのも、共通の話題があるということだし。大阪にはそれがない。

山本　やっぱりうちで全部お客をとろうと思っても、絶対ダメ。全体的に盛り上げていったほうが、商売としていいはずですよ。

自分で走る車は優雅にゆったりと……!?

牧原　今度、谷田部で最高速ギャル大会やるとか、そういうのもおもしろいやろね。

雨宮　やっぱり一番いいのは、東京から大阪までの勝負――。

大川　キャノンボール。

雨宮　やっぱりキャノンボールしかないでしょう。最後は。

――ずい分、過激ですね。

雨宮　正直いって俺は、ゼロヨンとか最高速よりも、キャノンボール的なことが好きだから。

大川　昔は毎週やってましたね。クラウンのライトバンでよく行ったな。あの頃は面白かったですね、雨さん。

雨宮　面白かったな。みんなドングリの背比べで。毎週土曜日行くのが楽しかったもの。雨でも勝負やったものね。

大川　みんなどうしちゃったんですかね。名前聞いたやつはいっぱいいたけど、みんないなくなって……。

山崎　牧原さんは、けっこうダートラやってたんでしょ。

牧原　それほどやってないですけどね。昔、ゼロヨンという雑誌があったでしょ、あの頃、富士をチョロチョロと走っていた。

雨宮　ああいうのもいいね、みんな